

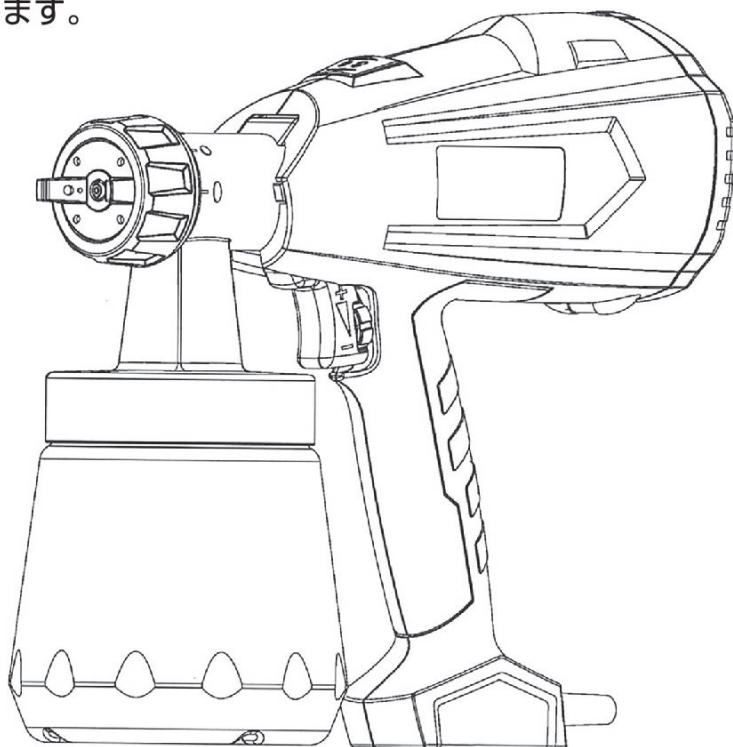
取扱説明書



HVLP電動スプレーガン

注文コード	70248858
モデル	MG-HVLP

このたびはHVLP電動スプレーガン(MG-HVLP)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず本書をよくお読みのうえ、本製品の性能を十分にご理解をされたうえで、適切な取扱いと保守をしていただきますようお願いいたします。



重要

**購入後初めて使用する場合は、塗料通路内部の防錆油を取除くため
洗浄液を吹いて内部洗浄を必ず行ってください。**
※防錆油が残っていると吹き付け不良の原因となります。

■安全にお使いいただくために

⚠危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して
想定される内容をしめています。

- 広く通気性が良い、換気ができる場所で使用してください。霧状の塗料は、火災や爆発のおそれがあり危険です。
- ガソリン・灯油・経油などの燃料は使用しないでください。火災・爆発のおそれがあります。
- 使用中は喫煙や火を近づけたり、火の側で使用しないでください。火災・爆発のおそれがあります。
- 霧状の塗料を吸い込むと中毒を引き起こす可能性があります。必ず防毒マスクを着用の上、作業してください。
- 以下の塗料は絶対に使用しないでください。故障・重大な事故の原因となります。
 - ◆ メタリック、パールなどの粉末入り塗料 ◆ 骨材入り塗料 ◆ 漂白剤、塩素を含む塗料
 - ◆ 超高粘度塗料 ◆ ウレタン塗料 ◆ 弾性系塗料
- 濡れた手や、雨の中など本製品が濡れる可能性のある環境では使用しないでください。
防水仕様ではありません。故障や感電事故の原因となり非常に危険です。
- 以下の行動は重大な事故の原因となるため絶対にやめてください。
 - ◆ 長髪を束ねず、そのままの状態を使用する。 ◆ 無理な姿勢で使用する。
 - ◆ 作動スイッチを押したまま、AC100Vコンセントに接続する。
 - ◆ 電源プラグをAC100Vコンセントに接続したまま移動する。 ◆ 作動させたまま放置する。

⚠警告

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重症等の重大な障害に結びつく可能性があります。

- 本製品は塗装することを目的に作られております。
他の用途での使用は想定されておりません。本来の用途以外に使用しないでください。
- 誤った使用法により、商品破損・人体への損傷・物品への損害が生じた場合、当社では一切の補償、
並びに責務を負いません。本書の使用方法を熟読し、よく理解してから使用してください。
- 危険なため、子供や幼児には触らせないでください。
- 本体が触れないほど異常に熱い、異音・異臭がする、その他異常を感じた場合は速やかに使用を中止してください。
- 本体の持ち運びは、電源コードを持たずに、本体を持ってください。断線し感電や火災の原因となります。
落下による故障・怪我の原因となります。
- 電源から抜くときは電源プラグを持って抜いてください。断線し感電や火災の原因となります。
- 電源コードを引っ張ったり、乱暴に扱わないでください。断線し感電や火災の原因となります。
- 電源コードを、熱や油、角の尖った所に近づけないでください。電源コードの損傷は感電や火災の原因となります。
- 直流電源やエンジン発電機で使用しないでください。動作不良や故障・思わぬ事故の原因となります。
- 使用中は本体の温度が上昇します。直接触れたり、燃えやすい物を近づけないでください。

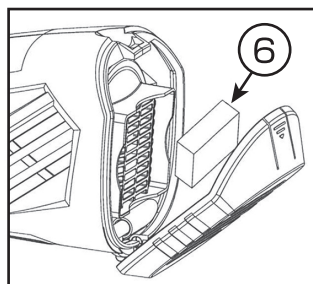
⚠注意

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、人的障害や製品の破損、その他の物的損害へ
つながる可能性があります。

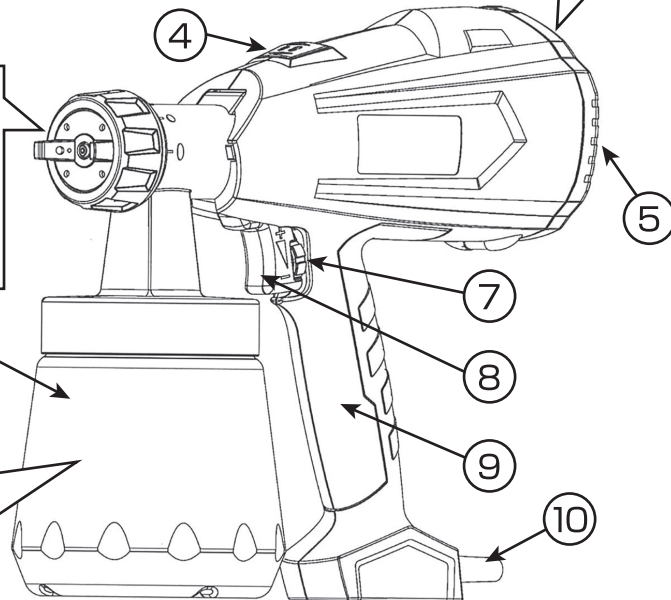
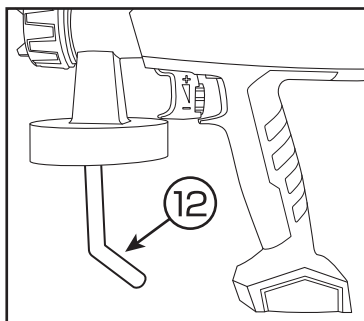
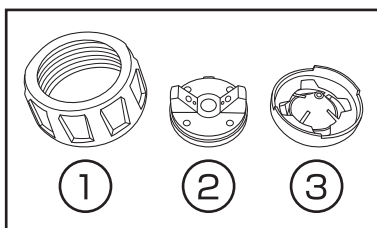
- 故障や事故を防ぐため、使用毎に各部の点検を行ってください。
- 塗料は、必ず塗料メーカーで指定された溶剤で希釈してください。指定外の希釈は、詰まりや塗装不良の原因となります。
- 下記を行う際は、必ず電源プラグを抜いて行ってください。
 - ◆ パターン調整 ◆ 塗料の追加 ◆ エアキャップ・ノズルの取外し
 - ◆ フィルターカバーの開閉 ◆ ガンボディの取外し
- 使用後は電源プラグをAC100Vコンセントより抜いてください。

■製品仕様

本体仕様	
電源	AC100V-50/60Hz
定格消費電力	230W
ノズルサイズ	φ1.8mm/2.6mm
最大吐出量	280mL/分(φ1.8mmノズル使用時) 800mL/分(φ2.6mmノズル使用時)
最大塗料粘度	60din/sec
カップ容量	700mL
適合塗料	水性塗料・油性塗料
不適合塗料	メタリック、パールなどの粉末入り塗料 骨材入り塗料・漂白剤、塩素を含む塗料 超高粘度塗料・ウレタン塗料・弾性系塗料
定格使用時間	30分
騒音値	76dB
電源コード長	約2m
本体サイズ	115(幅)×270(奥行)×250(高さ)mm
重量	約1.2kg
付属品	φ2.6mmノズル×1(φ1.8mmノズルは本体付属) 簡易粘度計×1



■各部名称



1	リング	7	流量調整ダイヤル
2	エアキャップ	8	トリガー
3	ノズル	9	グリップ
4	リリースボタン	10	電源コード
5	フィルターカバー	11	塗料カップ
6	フィルタースポンジ	12	サクションチューブ

■準備

■塗料の準備

- 水性塗料・油性塗料は使用可能ですが、以下の塗料は使用できません。

【使用できない塗料】

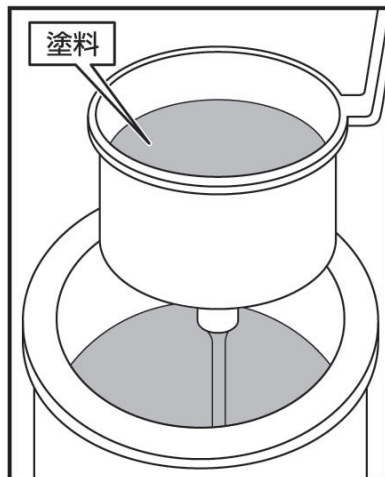
- ◆メタリック、パールなどの粉末入り塗料
- ◆骨材入り塗料
- ◆漂白剤、塩素を含む塗料
- ◆超高粘度塗料
- ◆ウレタン塗料
- ◆弾性系塗料

- 簡易粘度計を使い、塗料粘度を測ります。

※塗料は、必ず塗料メーカーで指定された溶剤で希釈してください。

- ①適切に希釈された塗料をよくかき混ぜます。
- ②簡易粘度計を完全に塗料に浸します。
- ③簡易粘度計を引き上げ、塗料が出切るまでの時間を計測します。
※21℃以下の引火点を有する材料は使用できません。

目安の時間	
低粘度	約15秒以下
中粘度	約15秒～25秒
高粘度	約25～60秒 ※60秒以上は使用できません。



■使用方法

●ノズル交換

φ1.8mmとφ2.6mmの2種類のノズルが付属しております。

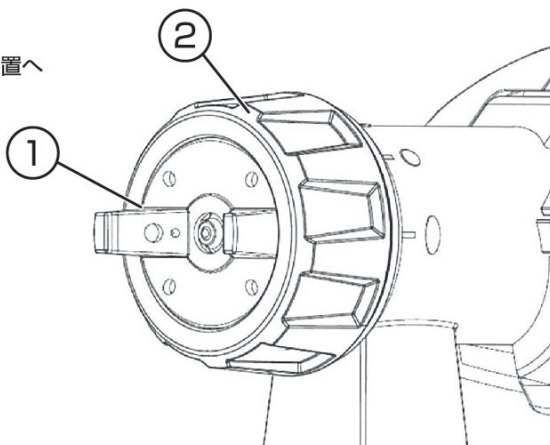
※1.8mmノズルはあらかじめ本体に装着されています。

リングを緩めて外し、エアキャップとノズルを必要に応じて取外してください。

※内部の白いニードルは取外せません。

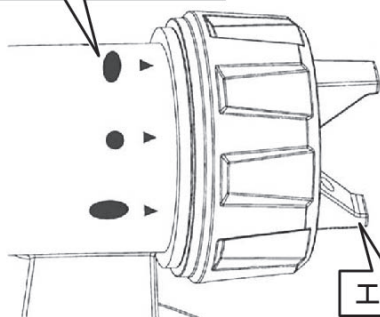
●吹き付けパターンの調整

②のリングを少し緩め、①のエアキャップを任意の位置へ調整し、調整後はリングを閉めてください。

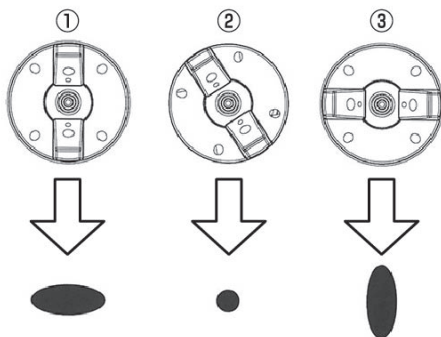


【エアキャップの位置と吹き付けパターン】

吹き付けパターン表示



エアキャップ先端部

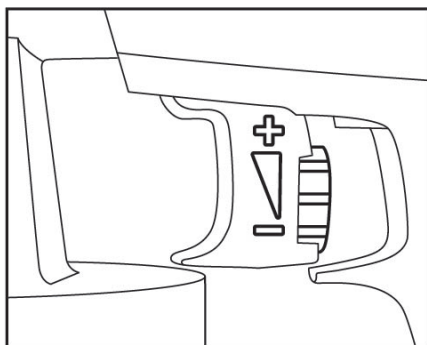


●流量調整

流量調整ダイヤルを回すことで、流量調整ができます。

＋方向へ回す:流量増

－方向へ回す:流量減

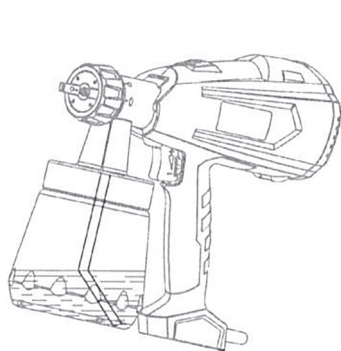


●サクシオンチューブの調整

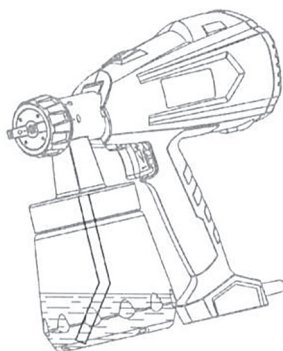
サクシオンチューブの向きを変えることで、塗料の吸上げ不良を防止できます。

上向きに吹き付ける場合:サクシオンチューブ先端を後方に向けます。

下向きに吹き付ける場合:サクシオンチューブ先端を前方に向けます。



上向き吹き付け時



下向き吹き付け時

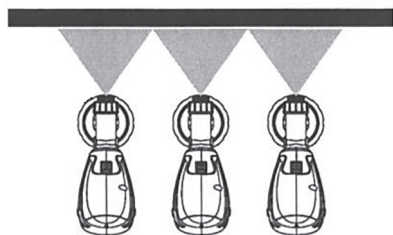
●初回使用時の注意

初めて使用する際は、塗料通路内部の防錆油を去除するため塗料カップに洗浄液を入れ、洗浄液を噴霧してください。

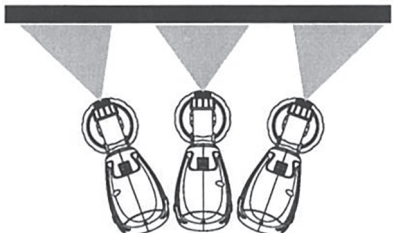
※この際、塗装する面に吹き付けしないでください。

●塗装方法

- 1) 塗料カップに塗料をいれます。
- 2) 電源プラグを、AC100Vコンセントに接続します。
- 3) 流量・パターンを調整し、一度試し吹きをしてください。
- 4) 吹き付け面に下記の要領で塗料を吹き付けます。



- 吹き付け面から、5～15cm程度離します。
- 一定の速度で、平行に吹き付けます。
- 最初の吹き付けは薄くし、一度乾燥させてから再度少し厚めに塗装します。



- 振りながら吹き付けると、塗りムラの原因となります。

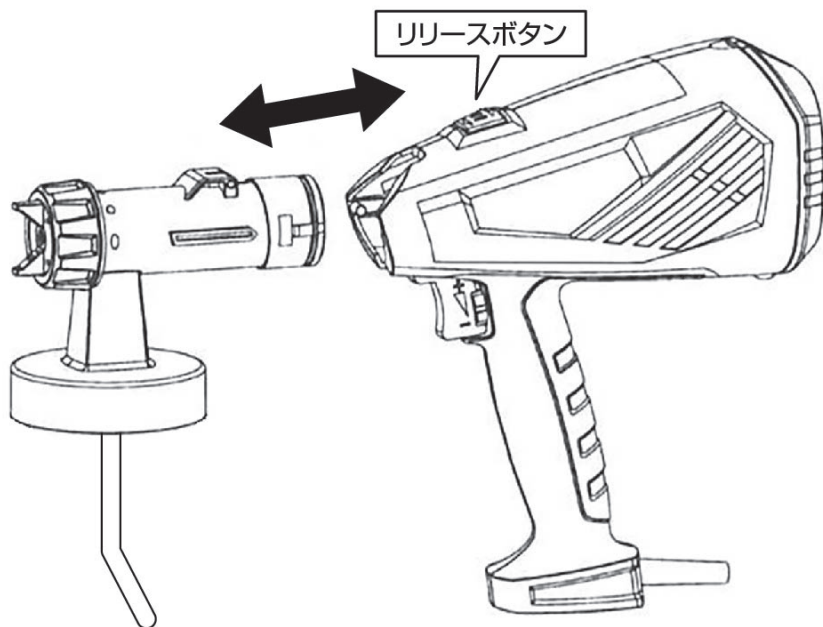
■お手入れ方法

使用後は速やかにガン进行洗浄してください。

※放置すると塗料が固まり使用できなくなります。

●清掃方法

- 1) 本体内部に残った塗料を塗料カップに戻すため、引き金を引きます。
- 2) 塗料カップを空にし、洗浄液で塗料カップを洗浄します。
- 3) 塗料カップに洗浄液を少量入れ、空吹きします。
※綺麗な洗浄液が出るまで空吹きしてください。
- 4) 電源プラグを、AC100Vコンセントより抜きます。
- 5) 空吹き後は、塗料カップ、サクシオンチューブを取外し、洗浄液をふき取ります。
- 6) リリースボタンを押しながら、ボディを取外します。



- 7) リングを緩め、エアキャップ・ノズルを取外し洗浄します。
※ナイロンブラシなどを使用し、金属製ブラシは故障の原因となりますので使用しないでください。
※溶剤やシリコンを含んだ潤滑剤を使用しないでください。
- 8) ウェスなどに洗浄液を塗布し、本体の汚れをふき取ってください。
- 9) ガンボディのOリングに少量のグリスを塗布します。
※その他の部位にはグリスを付着させないでください。
- 10) ガンボディを本体に取付けます。
- 11) エアキャップ・ノズル・塗料カップ・サクシオンチューブを取付けます。
- 12) 高温・多湿な場所を避けて保管してください。
- 13) エアフィルターが過度に汚れていないか、定期的に確認してください。

